

StiLL関数

StiLL

- ◆ StiLL関数は、Excel関数にはない処理や煩雑になる数式を簡略化することが可能なオリジナルの関数です。

StiLL関数一覧	
S_Address(セル)	参照セルのアドレスを表示します。
S_Compare(範囲1,範囲2,[一致],[不一致])	ふたつの範囲値を比較します。
S_Connect(テキスト範囲,[区切り文字],[数字])	セル参照範囲の値を連結します。
S_Link(セル,[文字])	空白セルを抑制します。
S_MaxRow(セル)	指定セルの最終行を取得します。
S_MaxCol(セル,[数字])	指定セルの最終列を取得します。
S_TakeFile(セル)	文字列からファイル名を取得します。
S_TakeFolder(セル)	文字列からフォルダ名を取得します。
S_TakeFileExt(セル)	文字列から拡張子を取得します。

- ◇ StiLL関数引数内のオプション項目([])は省略が可能です。
- ◇ 種類や状況によっては、再計算が必要だったり、処理に時間が掛る可能性もありますので、StiLLボタンで結果(戻り値)を値にして貼り付けるような使い方を推奨します。詳しくは奥付頁を参考にしてください。

● S_Address(セル)

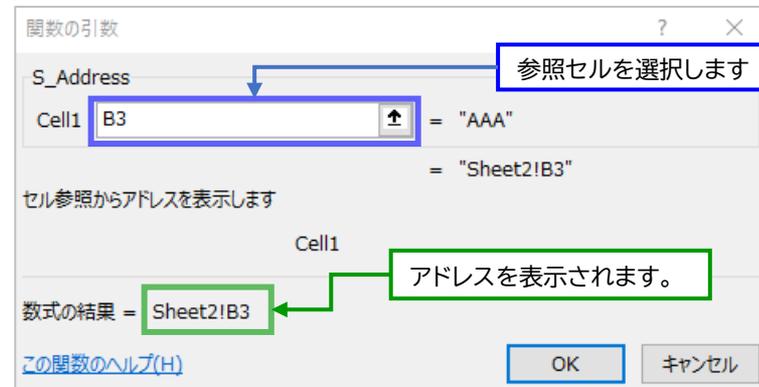
セル参照からアドレスを表示します。

	A	B	C	D
1				
2		選択セル		関数
3		AAA		Sheet1!B3
4				

数式→「=S_Address(B3)」

- ・参照先のアドレスが表示されます。
- ・Excel関数の「=ADDRESS()」を利用するより簡易的にアドレスが取得できます。

<ポイント> 数式「=S_Address(B3:B5)」と範囲指定した場合は、参照先範囲のアドレス「Sheet1!B3:B5」が表示されます。



● S_Compare(範囲1, 範囲2, [一致], [不一致])

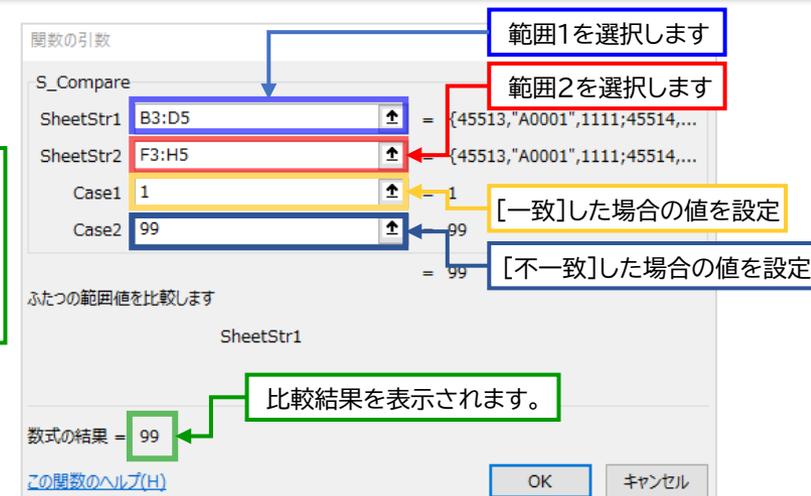
ふたつの範囲値を比較します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		申込日	申込番号	商品ID		申込日	申込番号	商品ID		数式
3		2024/8/9	A0001	1111		2024/8/9	A0001	1111		99
4		2024/8/10	A0002	2222		2024/8/10	A0002	4444		
5		2024/8/11	A0003	3333		2024/8/11	A0003	3333		
6										

数式→「=S_Compare(B3:D5,F3:H5,1,99)」

- ・範囲1と範囲2を比較して、一致は「1」、不一致は「99」の値を返します。

※[一致],[不一致]を省略した場合は、一致は「Null」、不一致は「1」の値を返します。



● S_Connect(テキスト範囲, [区切り文字], [数字])

セル参照範囲の値を連結します。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		申込番号	商品ID	商品名		関数
3		A0001	1111	チョコレート		A0001-1111-チョコレート
4		A0002		クッキー		A0002--クッキー

数式→「=S_Connect(B3:D3,"-",1)」

- 複数のセル範囲に含まれている文字列を連結して、「区切り文字」を指定できます。
- [数字](0以外)を指定するとセルが空白でも「区切り文字」を表示します。

※[区切り文字]を省略した場合は、「/」が挿入されます。
※[数字]を省略した場合は、セルが空白のときは「区切り文字」を省略します。

The screenshot shows the S_Connect dialog box with the following settings and annotations:

- SheetStr:** B3:D3 (Annotated: テキスト範囲を選択します)
- ConStr:** "-" (Annotated: [区切り文字]を指定)
- Sw:** 1 (Annotated: [数字](0以外)を指定)
- Result:** A0001-1111-チョコレート (Annotated: 連結結果が表示されます。)

● S_Link(セル, [文字])

空白セルを抑制します。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		申込番号	商品ID	商品名	金額		数式
3		A0001	1111	チョコレート	300円		A0001
4			1112	クッキー	250円		
5		#VALUE!	1113	キャンディー	180円		error

数式→「=S_Link(B3,"error")」

- 空白セルは「Null」で参照します。
- [文字]を指定すると、エラーの場合は「error」が表示されます。

※[文字]を省略した場合は、エラー値は「Null」になります。

The screenshot shows the S_Link dialog box with the following settings and annotations:

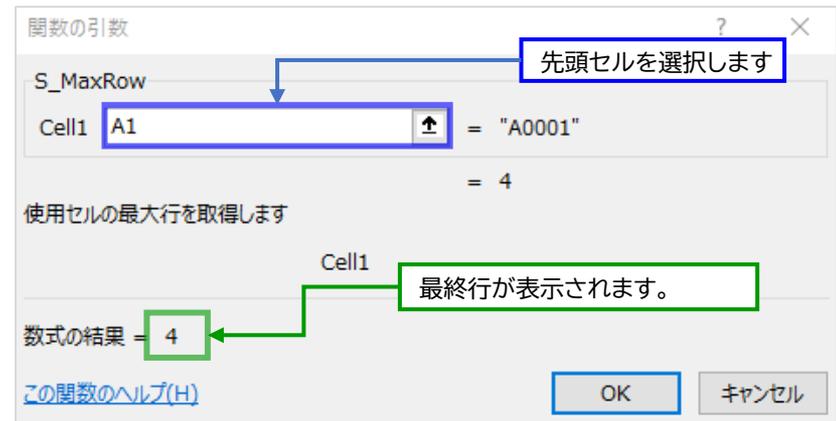
- Cell1:** B3 (Annotated: セルを選択します)
- ErrStr:** "error" (Annotated: [文字]を指定)
- Result:** A0001 (Annotated: 結果が表示されます。)

<ポイント> イコール「=B3」で参照する場合は、空白セルが「0」で表示されます。

● S_MaxRow(セル)

指定セルの最終行を取得します。

	A	B	C	D	E	F
1	A0001	1111	チョコレート	300円		
2	A0002	1112	クッキー	250円		
3		1113	キャンディー	180円		
4	A0004	1114	チョコレート	300円		
5		1115	クッキー	250円		
6						



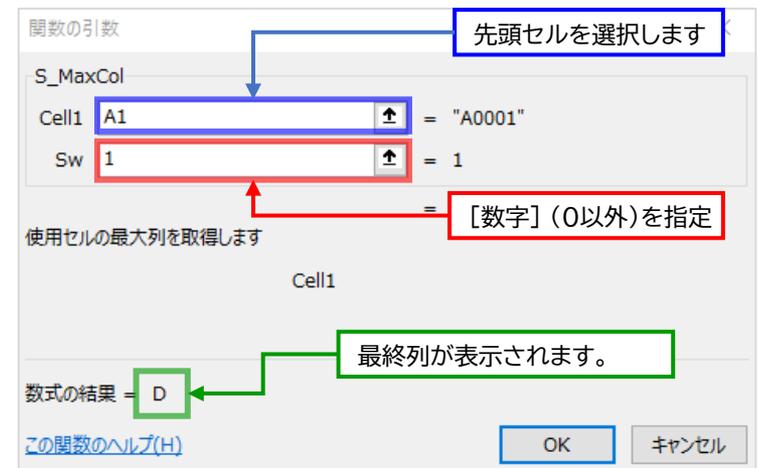
数式→「=S_MaxRow(A1)」

・指定セルから空白セルを含む最終行の番号を表示します。

● S_MaxCol(セル, [数字])

指定セルの最終列を取得します。

	A	B	C	D	E	F
1	A0001		チョコレート	300円		
2	A0002	2222	クッキー	250円		
3	A0003	3333	キャンディー			
4	A0004	4444	チョコレート	300円		
5	A0005	5555	クッキー	250円		



数式→「=S_MaxCol(A1,1)」

・指定セルから空白セルを含む最終列を表示します。
・[数字] (0以外)を指定すると、アルファベットが表示されます。

※[数字]を省略した場合は、列番号が表示されます。

● S_TakeFile(セル)

文字列からファイル名を取得します。

A	B
1	
2	ファイルパス
3	C:¥Users¥User¥StiLL¥StiLL関数.pptx
4	
5	数式
6	StiLL関数.pptx
7	

数式 → 「 =S_TakeFile(B3) 」

・ファイルパスの中からファイル名を抽出します。

関数の引数

S_TakeFile

FileStr B3 = "C:¥Users¥User¥StiLL¥StiLL関数.pptx"
= "StiLL関数.pptx"

文字列からファイル名をとりだします

FileStr

数式の結果 = StiLL関数.pptx

この関数のヘルプ(H) OK キャンセル

● S_TakeFolder(セル)

文字列からフォルダ名を取得します。

A	B
1	
2	ファイルパス
3	C:¥Users¥User¥StiLL¥StiLL関数.pptx
4	
5	数式
6	C:¥Users¥User¥StiLL¥
7	

数式 → 「 =S_TakeFolder(B3) 」

・ファイルパスの中からフォルダ名を抽出します。

関数の引数

S_TakeFolder

FileStr B3 = "C:¥Users¥User¥StiLL¥StiLL関数.pptx"
= "C:¥Users¥User¥StiLL¥"

文字列からフォルダ名をとりだします

FileStr

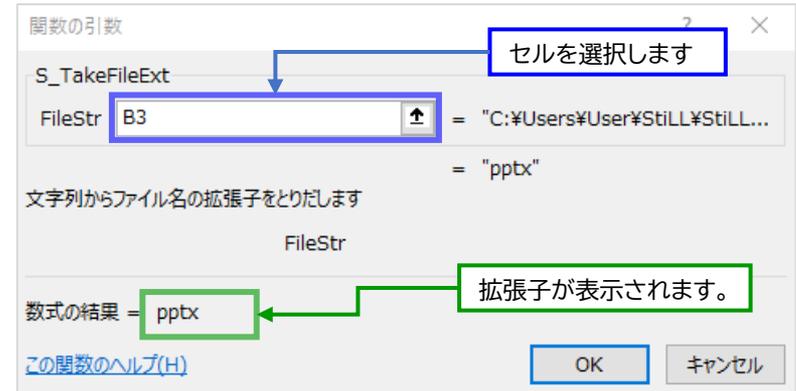
数式の結果 = C:¥Users¥User¥StiLL¥

この関数のヘルプ(H) OK キャンセル

A	B
1	
2	ファイルパス
3	C:¥Users¥User¥StiLL¥StiLL関数.pptx
4	
5	数式
6	pptx
7	

数式 → 「 =S_TakeFileExt(B3) 」

・ファイルパスの中から拡張子を抽出します。



● StiLL関数の注意点

StiLL関数は再計算で処理が重くなる可能性があるため、「BtSetValue」「BtMerge」などを利用して、数式を値化するようにしてください。

値化するには、「**‘==**」 シングルクォーテーション+イコール+イコールを利用します。

◆ セルリンクボタン「BtSetValue」 ※StiLLボタン「MakeBtSetValue」

BtSetValue セルに値をセットする	
ボタンの見出し	セル値セット
対象範囲	Sheet1!F3:F5
セット値	==S_Connect(B3:E3)
Button 2 <small>セル値セットSheet1!F3:F5==S_Connect(B3:E3)</small>	
セル値セット	

A	B	C	D	E	F
1	◆元データ			◆数式を値化	
2	申込番号	商品ID	商品名	S_Connect関数	
3	A0001	1111	チョコレート	A0001/1111/チョコレート	
4	A0002	1112	クッキー	A0002/1112/クッキー	
5	A0003	1113	キャンディー	A0003/1113/キャンディー	

セット値:「**‘==S_Connect(B3:E3)**」と記入してボタン実行で数式が値に変換します。

◆セルリンクボタン「BtMerge」 ※StiLLボタン「MakeBtMerge」

BtMerge 複数のExcelファイルからデータを取得	
ボタンの見出し	Excelデータ取得
フォルダ名	
ファイル名	
対象シート名	Sheet4
元データ範囲	Sheet4!B2
項目範囲	Sheet4!F1:G3
検索範囲	
出力開始位置	Sheet4!F7
出力範囲名	
出力範囲名2	
読取パスワード	
オプション	
Button 2 <small>Excelデータ取得Sheet4!B2:Sheet4!F1:G3:Sheet4!F7</small>	
Excelデータ取得	

A	B	C	D	E	F	G	H
1	◆元データ			申込番号	S_Connect関数		
2	申込番号	商品ID	商品名	S	S		
3	A0001	1111	チョコレート		==S_Connect(B3:D3)		
4	A0002	1112	クッキー				
5	A0003	1113	キャンディー				
6							
7				申込番号	S_Connect関数		
8				A0001	A0001/1111/チョコレート		
9				A0002	A0002/1112/クッキー		
10				A0003	A0003/1113/キャンディー		
11							

項目範囲の該当無:「**‘==S_Connect(B3:D3)**」と記入してボタン実行で数式が値に変換します。